

被災者

共同支援センター

通信

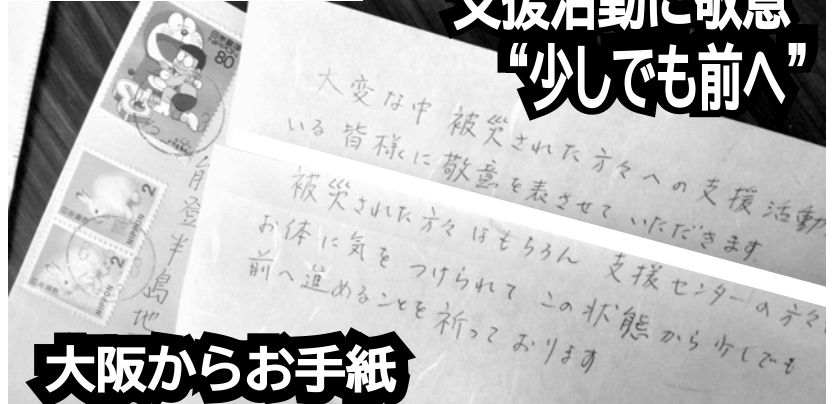
No.2 [3/7] 能登半島地震 被災者共同支援センター

X @notosiensenta 〒925-0026 石川県羽咋市石野町ト 13-1
Mail: notosien@ymail.ne.jp 電話 0767-23-5107 Fax5108

「住み続けられる能登」をめざして、みなさんとともにがんばります!!



左からボランティアの矢野由紀子・前川口市議(埼玉)と吉田英策・事務局次長(前福島県議)



“支援活動に敬意”
“少しでも前へ”

大阪からお手紙

ありがとう—心のこもった物資やお手紙

ボランティアを希望されるみなさんへ 支援センターの業務とボランティア募集要項について

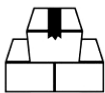
能登半島地震被災者共同支援センターは、日本共産党が設立をよびかけ、新日本婦人の会、民医連・友の会、全労連・県労連、農民連などの団体が共同団体として参加し、共同で運営にあたっている被災者支援組織です。活動内容は以下の通りです。

能登半島地震被災者
共同支援センター

〒925-0026
羽咋市石野町ト 13-1
TEL: 0767-23-5107

ボランティア業務は次の内容になります

物資班



被災者支援物資の全国からの受け入れと整理搬出作業(センター内業務)

相談班



被災者聞き取り(要請がきた現地に出向き御用聞き(要望)相談対応及び物資提供)

行政班



センターにおける被災者生活相談と対政府・自治体への要請

- ◆ 物資班と相談班の業務をボランティア希望者にお伝えして、日程・活動内容を打ち合わせます。
- ◆ 土日・週末は希望者が多く、日程変更をお願いする場合があります。
- ◆ 原則としてボランティア保険に加入していただきます。全国社会福祉協議会の「天災・地震コース」(期間2年間、500円)。
- ◆ 宿泊所と交通手段は、希望者が自費で確保していただきます。センターでの宿泊は可能ですが、混雑する日があり、金沢市内のホテルに自費で宿泊していただくケースが多くなっています。
- ◆ 極力、自家用車でお越しく下さい。レンタカーを使用する場合、能登半島は事故の際の保険適用外となる恐れがあります。ご注意ください。また、ガソリン代等の交通費は自己負担をお願いします。
- ◆ 電車でこられる場合は羽咋(はくい)駅から徒歩15分です。運転免許がない場合は、事務所内での作業が中心になります。



志賀原発では、1月1日の地震で、1号機と2号機で外部から電気を受けるために使われている変圧器の配管が壊れるトラブルが発生、絶縁や冷却のための油が合わせて2万3000リットル余り漏れ出しました。

北陸電力は、油のほとんどを回収したとしていましたが、7日に改めて確認したところ、2号機の変圧器近くの側溝で、微量の油膜を確認したほか、この側溝からつながる排水溝の出口付近の海面で油膜が見つかり、海への漏出が判明。地震後の対応に追われています。

他方、珠洲原発予定地の珠洲市高屋地区では高さ4m以上の地盤の隆起を確認、「原発を造らせなくて、本当によかった」との声が相次いでいます。加賀市に2次避難している珠洲市の住民と3日に懇談した、藤野やすふみ責任者の手記を紹介します。

藤野責任者

「珠洲原発を造らせなかった住民のたたかいに感銘」

珠洲・高屋地区住民と2次避難所で懇談

加賀市では、珠洲市高屋地区から、ホテルに2次避難されている方々からお話を聞きました。

漁師をしているIさんは「船は浮いているが、修理もいるし、このままではどうもならん。3月10日にここを出て白山市のみなし仮設に移る。そこから2年後が心配」「知事は大阪万博にカネを出すという。自分のポケットマネーならいいが、何を言っとるかを感じる」「高屋の家は何とか立っているの、できれば戻りたい」「珠洲原発の建設計画が出た時は市役所に座り込んだよ。会社も黙認してクビにできなかったんだよ」とおっしゃっていました。

会社も黙認というところに感銘を受けました。

もう1人は、3月3日付新聞赤旗3面でインタビューが載った、珠洲原発反対運動の中心的役割を果たした塚本真如さん（円龍寺住職）です。

円龍寺は倒壊。「今も敷地内のヒビが広がっている」「戻るのは無理かも。今後の住処は決まっていない」と言います。

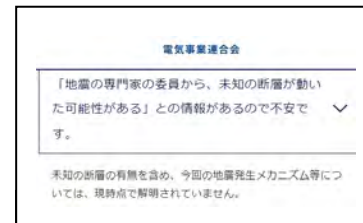
珠洲原発を止めたことについて、「今回の震災の後、すぐに今の2次避難に来るまでそのことを考えるヒマもなかった。このホテルに来て携帯を見たらすぐ着信やメールが来ていて『珠洲原発止めてくれてありがとう』と言ってくれたことに気づいた。『こんな大それたことをしたんだな』と思った」と話されました。

私も、一昨日、珠洲原発の予定地だった高屋に行き、地割れや隆起の実態を見てきただけに「珠洲原発がなくて良かった」と心から思いました。

Iさんや塚本さんたち、それを支えた人たちの力があってからこそ、原発を止めるという「大それたこと」ができたのだと思います。



原発建設を止めた珠洲市高屋地区の住民と懇談する藤野責任者＝3日、加賀市内の2次避難所にて



志賀原発付近の未知の断層が動いた可能性について、電気事業連合会は「未知の断層の有無を含め、今回の地震発生メカニズム等については、現時点で解明されていません。」とコメント（ホムページ）。原発の危険性が浮き彫りに。